

平成28年度事務事業評価表(一般用)

事務事業名		担当 部課 課	部課コード	081100	2991-1811
事業コード	がん検診事業		健康管理課		
081102			グループ 検診		
開始年度		昭和 58 年度	→	終了年度	年度

事業の概要	事業の種類	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ 法定受託 + 附加			根拠法令
	分野別計画・指針	がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針(国)・健康とこころ21			健康増進法
	関連・類似事業				
	総合計画の体系	章 健康・福祉	節 保健・医療	基本方針	生涯を通した健康づくりの推進
事業開始の背景	国民のがんによる死亡者数を減少させるため、老人保健法に基づき、胃・子宮頸・乳がん検診(昭和58年)、肺がん(平成元年)、大腸がん検診(平成4年)を開始した。平成20年度から、健康増進法に基づく健康増進事業として、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づき実施している。また、がん検診推進事業として、特定の年齢の者に乳がん検診・子宮頸がん検診(平成21年度開始)、大腸がん検診(平成23年度開始)の無料クーポン券配布による受診勧奨を実施した。(平成27年度で終了)				

事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)					
	がん検診を実施し、がんの早期発見と早期治療につなげ、市民のがんによる死亡の減少を図る。					
	対象(誰を、何を対象としているのか)		対象数	単位	平成 26 年度	延べ460,466 人
	胃・肺・大腸がん 40歳以上の市民 乳がん 40歳以上の市民(女性) 子宮頸がん 20歳以上の市民(女性)				平成 27 年度	延べ473,876 人
事業の具体的な内容及び実施方法						
[募集方法] 3月下旬に全戸配布した健康ガイドとこころざわ、市HP、広報とこころざわで周知及び募集(受診対象者には受診券を送付する。) 検診車で行う検診は、実施前月に広報とこころざわで募集						
[実施期間] 6月から3月まで実施						
[実施方法] 保健センター、検診車(まちづくりセンター等)の集団検診、市内医療機関での個別検診、人間ドック(市民医療センター)のオプション						
[自己負担額] 胃がん...1,200円、肺がん...800円(喀痰検査700円)、大腸がん...500円、乳がん...40~49歳/1,500円、50歳以上/1,000円、子宮頸がん...1,000円						
[結果通知] 検診後、医師の判定を受け、概ね1ヶ月後に本人に結果を通知する。精密検査未受診者には通知を送付し精密検査受診を促している。						

経費	会計種別	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)
	予算現額		265,323	248,385	230,246
	決 算 (見込み含む)		246,669	228,995	
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(0.00 人) (6.85 人)	(0.00 人) (6.85 人)		「財源内訳」について 平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	正規職員人件費	4.50 人 39,245	4.35 人 37,671		
	事業費合計	285,914	266,666		
	財源内訳	一般財源 247,566 248,516 214,892 国・県支出金 25,444 4,484 0 その他(受診者の自己負担金) 12,904 13,666 15,354			

実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	受診券発送件数	胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん	人	15,389	22,625	26,700	29,370
		延べ受診者数	胃・肺・大腸・乳：40歳以上 子宮頸：20歳以上の延べ受診者数	人	46,296	44,621	45,950	48,000

成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標
	成果指標	乳がん検診受診率 (前年度受診者数 + 当該年度受診者数 - 2年連続受診者数) ÷ 当該年度対象者数 国の指針に基づき2年に一度の受診のため、上記の算定式による	目標値	35	35	35	35
			実績	21	20	☒ 「実績」拡大図る ☐ 「実績」縮小図る	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています	%	達成率	60	58	↑どちらかをチェックしてください	

改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)		(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析	
	・保健センターで実施する胃がん検診、肺がん検診、乳がん検診の申込期限の延長→H26は4月18日(金)、H27は5月29日(金) ・バス(検診車)で実施する胃がん・肺がん検診を同時に受診可能とした→受診者の負担軽減(胃肺両方希望の場合、1回の受診で済む) ・バス(検診車)での乳がん検診実施→土曜日、日曜日に各1回実施→計83名受診 ・健康まつりでがんに関する講演会を実施→入場者数74名		近年、受診者が減少傾向にあるが、アンケートを実施したところ、その理由としてがん検診についての周知が不足しているとの意見が複数あった。H27年度は従来から行っている広報とこころざわ、ほっとメールに加え、行政回覧、コミュニティビジョン、デジタルサイネージ等を利用し申込勧奨等を行ってきたが思うように成果が得られなかった。	

評価	☒ 継続 ☐ 終了	事業実施方法(複数選択可)	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 改善・効率化 ☒ 現状維持 ☐ その他	理由
			次年度予算	☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 現状維持
	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性
	・平成28年度は新たに前立腺がん検診を実施。対象者は50歳、55歳、60歳、65歳、70歳、75歳、80歳の男性市民で、全員に検診票を郵送し、予約不要とした。 ・全戸配布している「健康ガイドとこころざわ」に添付の申し込みはがきを切手不要とし、従来よりも手軽に申し込みができるようにした。 受診勧奨については、40歳、50歳、60歳、70歳の方に切手不要の申込はがきを同封し郵送した。また、20歳、25歳、30歳の女性にはがん検診の周知と受診勧奨として、申込の有無に関わらず子宮頸がん検診の受診券を送付した。			国の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の中で、胃がん検診の項目として胃内視鏡検査が加わったことが示されたため、今後、実施に向けて所沢市医師会と調整及び協議を重ねる。 がん検診の申し込みや受診勧奨については、期間の延長や個別勧奨等、より良い方法を検討していく。

評価日	H28.8.19	評価者氏名	健康管理課長 瀬能 幸則
-----	----------	-------	--------------

環境影響	有益な環境影響		有害な環境影響を及ぼす原因活動	文書の作成、公用車の使用	規制を受ける環境法令等	無
					緊急事態	無